

株式会社イメージ・マジック 2024年12月期 決算説明会資料

2025年2月19日

株式会社 イメージ・マジック 証券コード：7793

IMAGEMAGIC

Contents

目次

1 会社概要

2 業績

3 今後の成長戦略

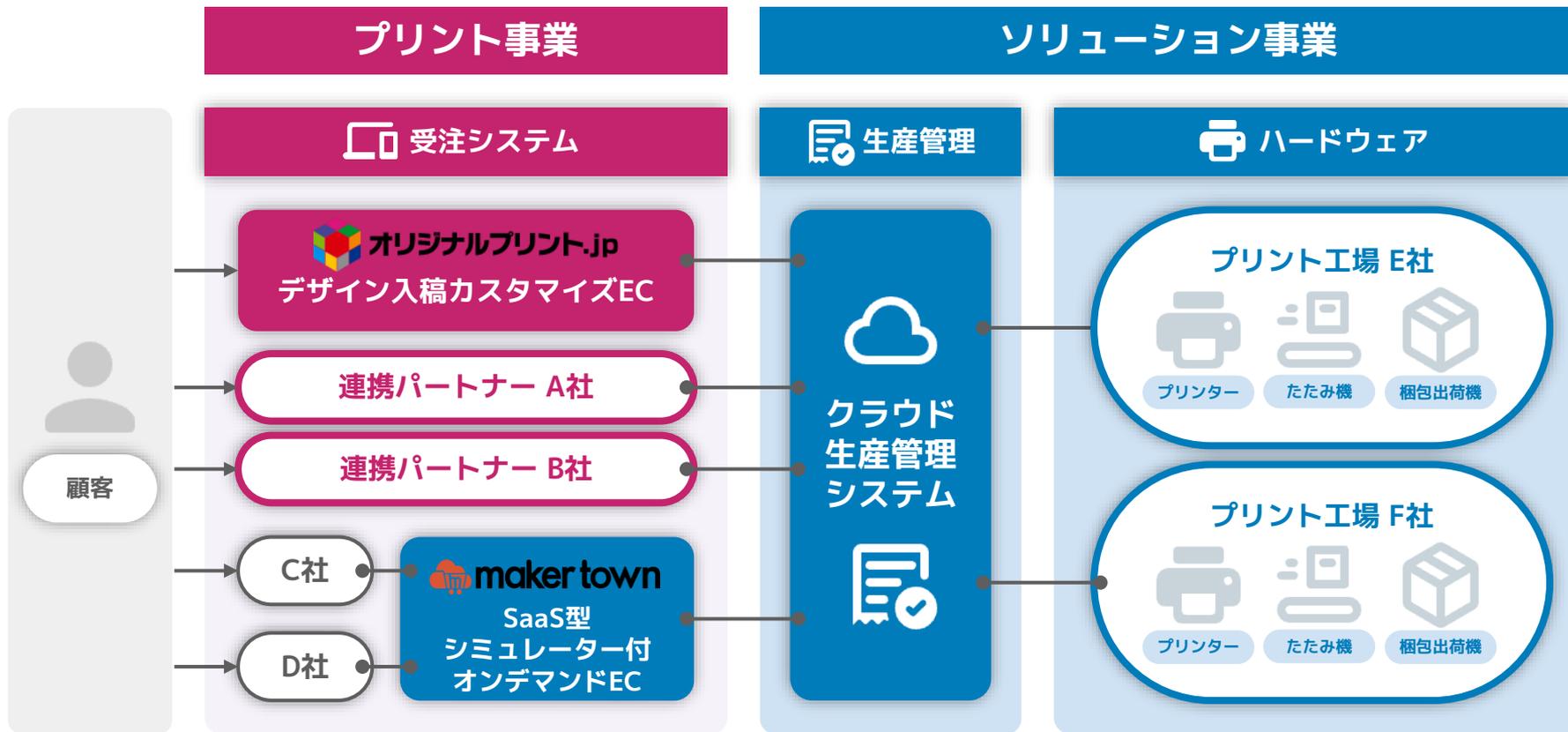
4 業績予想

5 Appendix

1

会社概要

IMAGEMAGIC



プリントサービス事業



①自社受注サイト

当社インターネットサイトを經由で受注し
プリント加工を行い出荷するサービス



②連携パートナー

当社のシステムと連携した会社經由で受注
データを取り込み、製造出荷するサービス

《主なグッズ例》

オリジナルグッズ/カジュアルギフト/クリエイターグッズ/
エンターテインメントグッズ/ノベルティ/ユニフォーム



ソリューションサービス事業



③ソフトウェア開発・提供

オンデマンドプリントの各ワークフローを
OEM及びSaaS型モデルとして提供



ハードウェア開発・販売

プリンター/加工機/たたみ機/梱包機等
生産・出荷プロセスで関わるハードウェアを
提供

個性と創造性溢れる 豊かな社会づくりに貢献します。

“プリント×IT”で起こす、イノベーション



簡単・便利な
モノづくりを実現

お客様が簡単/便利にモノづくりができ、お手頃価格で欲しいタイミングでお手元に届くことを実現する。



オンデマンド
生産市場拡大に貢献

工場のモノづくりのDX化をサポートし、オンデマンド生産市場拡大に貢献する。



在庫を減らし
つくる責任を果たす

オンデマンド生産できるアイテムを拡げ、世の中の無駄な在庫を減らし『つくる責任』を果たす。



ソリューションを
グローバルに提供

世界中から最適なソリューションをマッチアップし、信頼されるサービスをグローバルに提供していく。

事業活動を通して、社会課題の解決と企業価値向上を実現

イメージ・マジックは、創業時より「必要なものを必要な分だけ作る」というポリシーを掲げ、環境負荷の低減に取り組んできました。

これからもテクノロジーを活用した事業活動を通じて、持続可能な社会の実現に貢献していきます。



環境



社会



ガバナンス



7 エネルギーをみんなに
そしてクリーンに



9 産業と技術革新の
基盤をつくらう



12 つくる責任
つかう責任



4 質の高い教育を
みんなに



5 ジェンダー平等を
実現しよう



8 働きがいも
経済成長も



17 パートナーシップで
目標を達成しよう



16 平和と公正を
すべての人に



オンデマンド生産の仕組みをクラウド化したサービス

ODPS On demand print solutions



シミュレーター付カスタマイズECをクラウド化したサービス

maker town



オンデマンド生産の仕組みをクラウド化したサービスの提供

従来の大量生産システムとは異なり、お客様のニーズに合わせたオンデマンド生産を実現するクラウドサービスを提供しています。これにより、無駄な在庫を抑え、資源の有効活用と環境負荷の低減に貢献しています。

資源の有効活用

環境負荷の低減



サステナブル製品の提供

環境に配慮した素材や製法を採用したサステナブル製品を積極的に使用し、環境負荷の低減に努めています。

また長く愛用できる高品質な製品を提供することで、廃棄物の削減にも貢献しています。

環境負荷の低減

廃棄物の削減



AIを用いたお問い合わせ対応

適切なAIツールを選定し、回答精度を高めるためのプロンプトのチューニング、商品データの学習を強化。さらにCRMと連携することで、AIが質問の意図を汲み取った適切な回答から商品のおすすめまで、信用度の高い回答を実現。

顧客対応の効率化・回答精度の向上

AIによる最適な提案



「オンデマンドアパレル」で 持続可能なモノづくりを推進

オンデマンドアパレルシステムを開発し、必要なものを必要な量だけ生産することで、過剰生産や在庫ロスを防ぎ、資源の有効活用に貢献。生産計画の高度化や無駄な工程の削減など、生産効率の向上に向けた取り組みも積極的に推進。

過剰生産や在庫ロスの削減

生産計画の高度化・無駄な工程の削減



環境負荷の低減に貢献する 顔料インクと昇華染色の採用

環境負荷の低い顔料インクと昇華染色の技術を採用し、水の使用量や廃棄物の削減を実現しています。インクの独自開発など、安全性の高い製品の提供に向けた取り組みも積極的に推進。

水の使用量や廃棄物の削減

環境負荷の低減



工場から出る廃棄物の 再資源化（固形燃料化）

工場から出る産業廃棄物を燃料に変換するRPF（リサイクル燃料）を製造し、廃棄物の削減とエネルギーの有効活用に貢献しています。RPFの普及促進にも取り組んでいます。

再資源化・CO2排出量の削減

RPFの普及促進

2

業績

IMAGEMAGIC

オンデマンドプリントサービス売上高が堅調に推移 売上・利益は過去最高値

売上高

7,767百万円

前年同期比 +27.9%

営業利益

439百万円

前年同期比 +38.2%

経常利益

449百万円

前年同期比 +41.5%

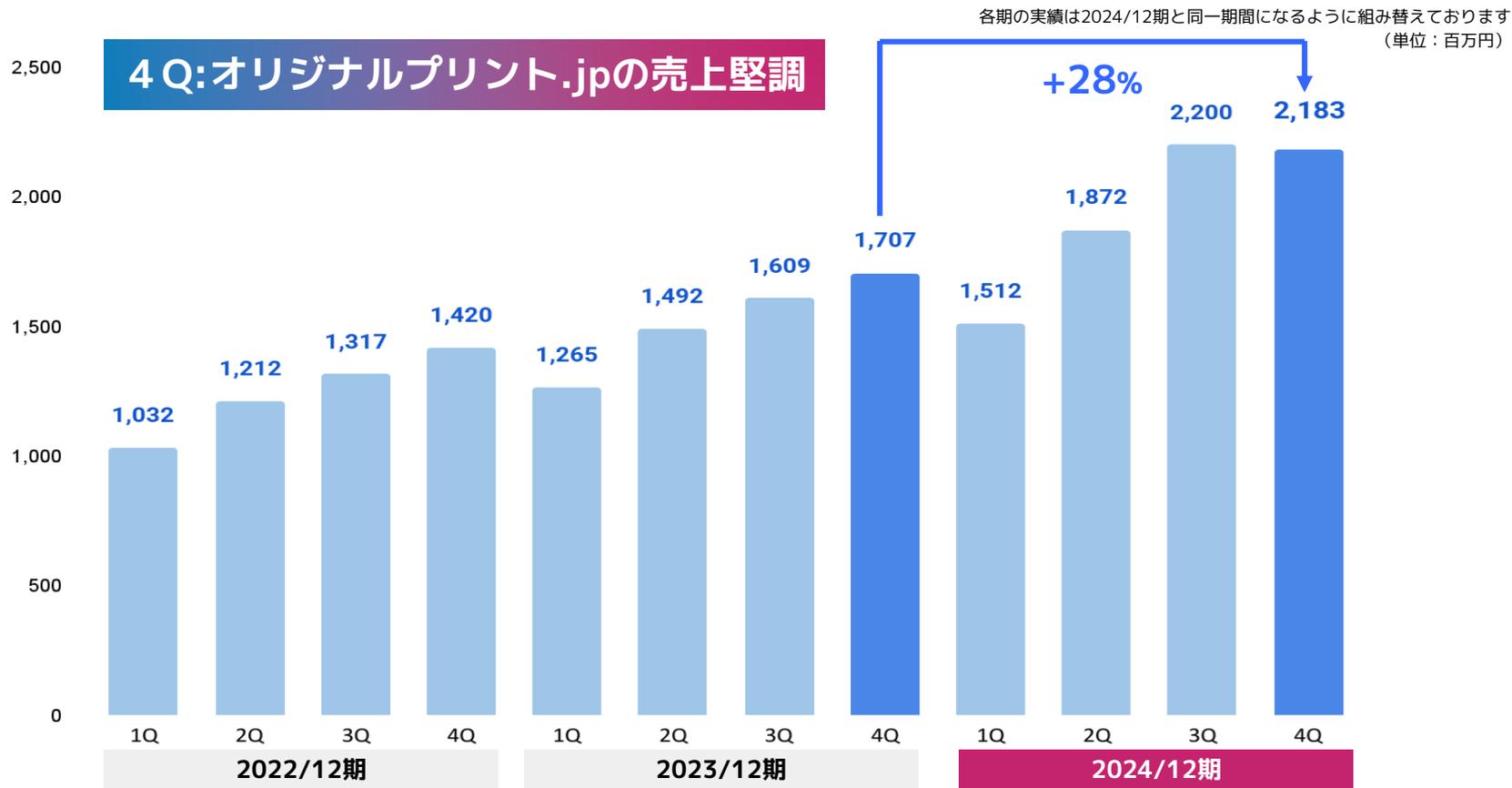
当期純利益

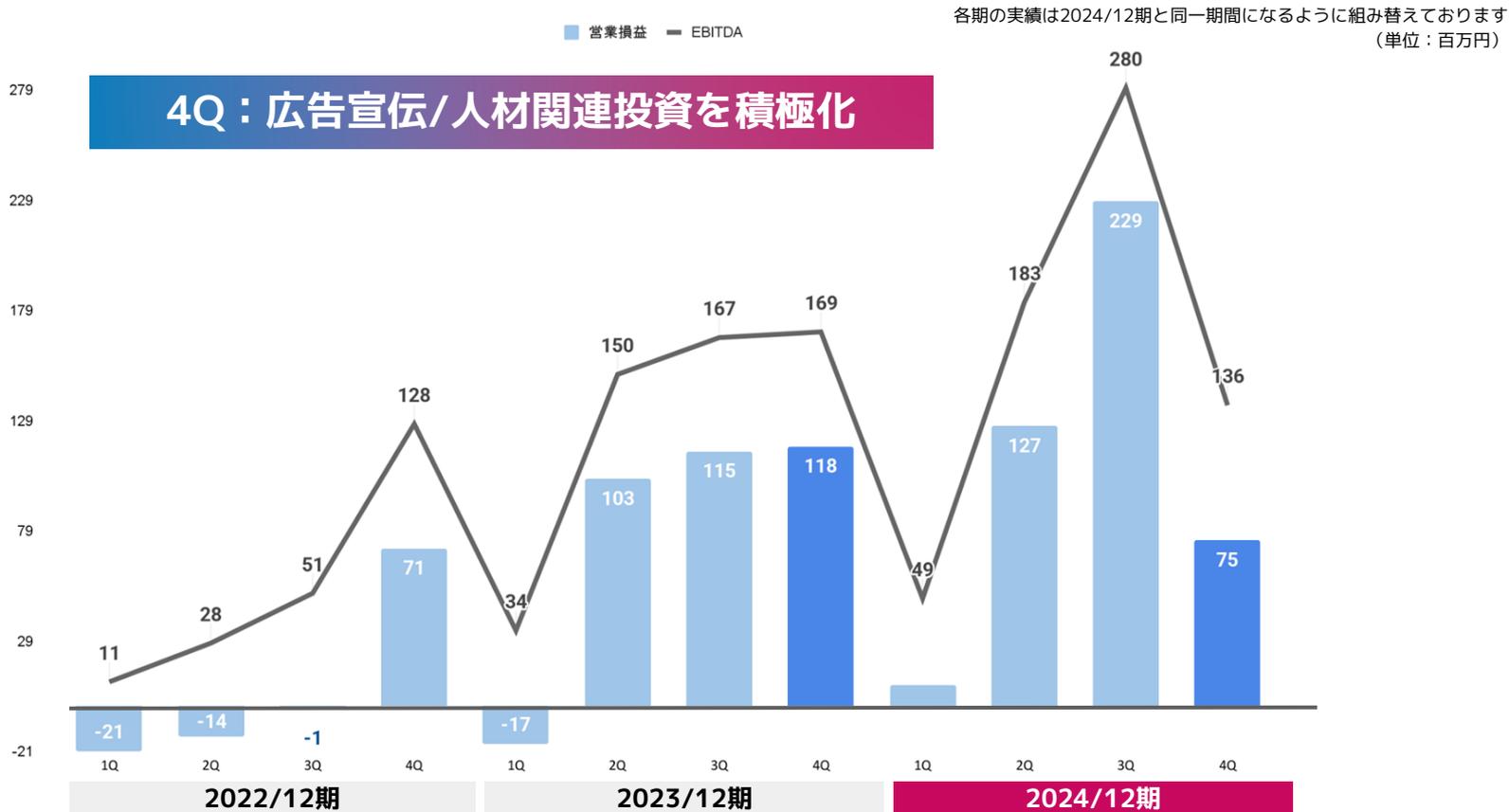
258百万円

前年同期比 +27.2%

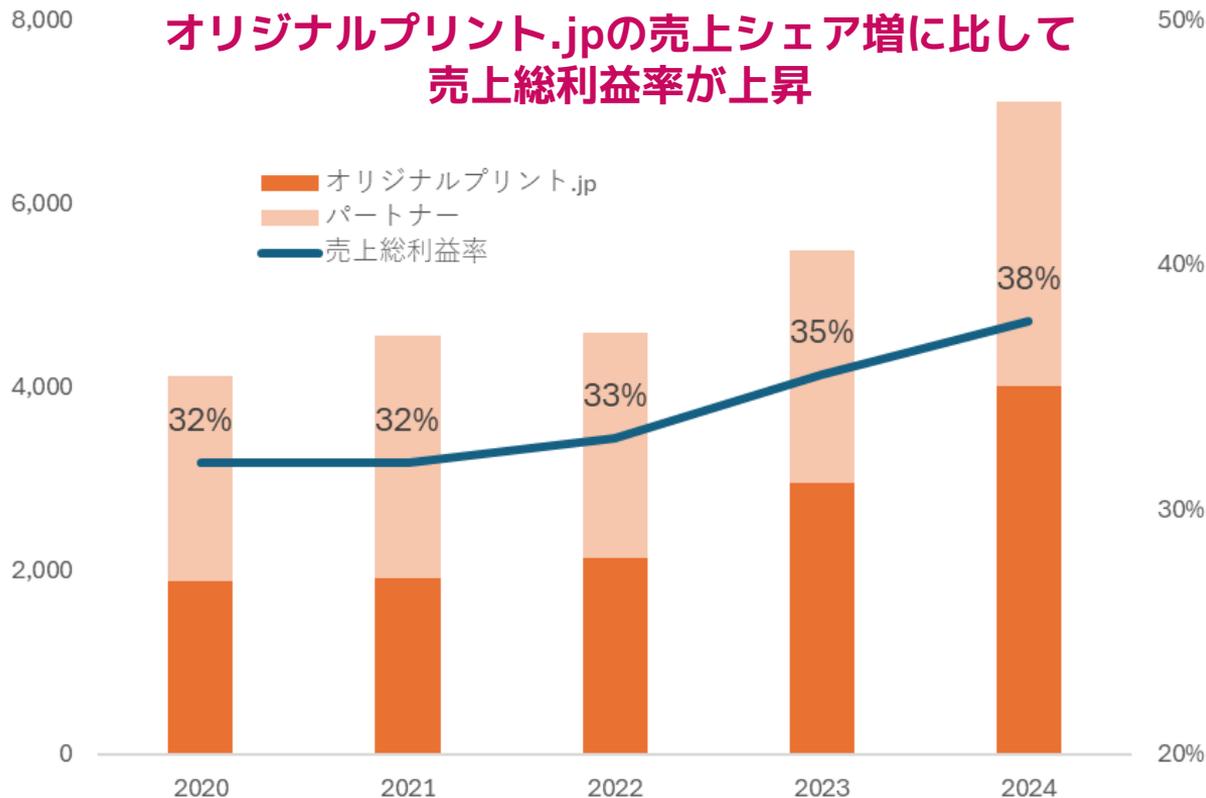
(単位：百万円)	2023年	2024年12月期	前年同期比	
	2023年1月 ～2023年12月 前年同期実績	2024年1月 ～2024年12月 当期4Q実績	増減額	増減率
売上高	6,072	7,767	1,694	27.9%
営業利益	318	439	121	38.2%
対売上比 (%)	5.2%	5.7%	+0.5pt	–
経常利益	317	449	131	41.5%
対売上比 (%)	5.2%	5.8%	+0.6pt	–
当期純利益	203	258	55	27.2%
対売上比 (%)	3.4%	3.3%	-0.1pt	–
EBITDA※	520	648	128	24.6%
対売上比 (%)	8.6%	8.4%	-0.2pt	–

※：EBITDA = 経常利益 + 支払利息 + 減価償却費 (無形固定資産に係る償却費を含む。)

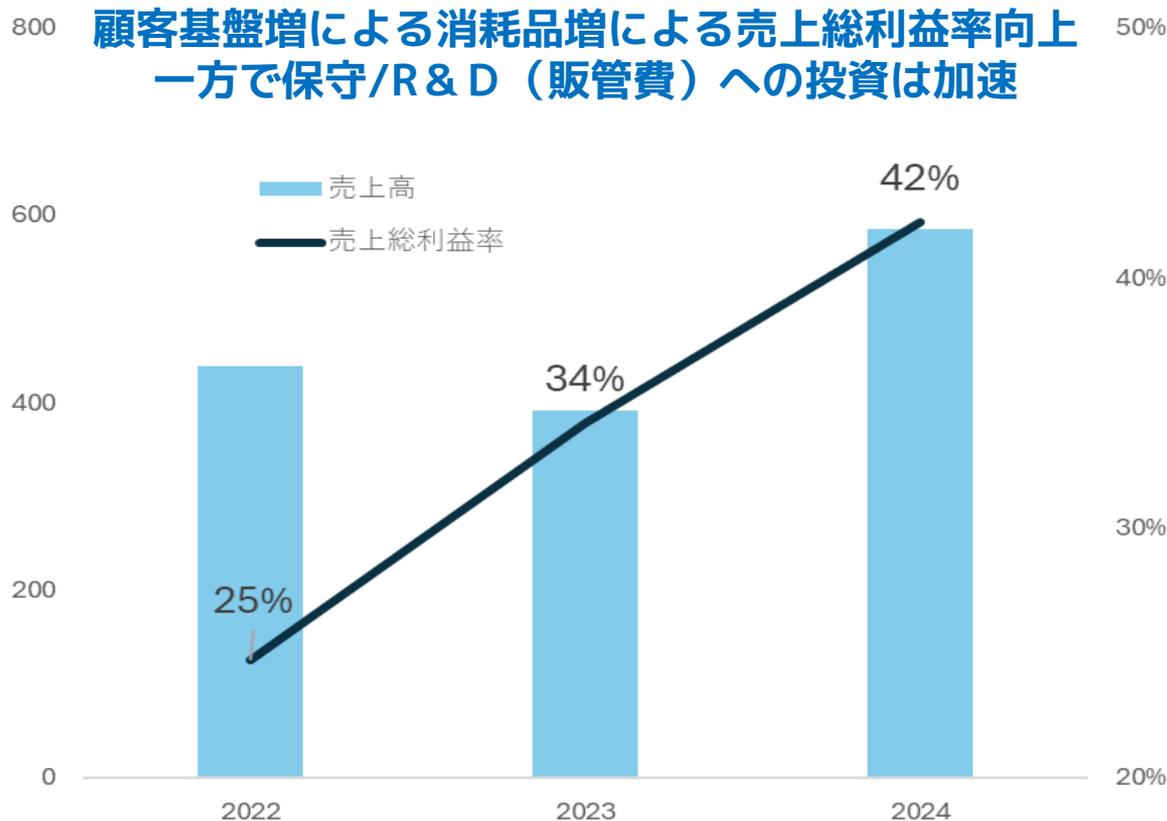




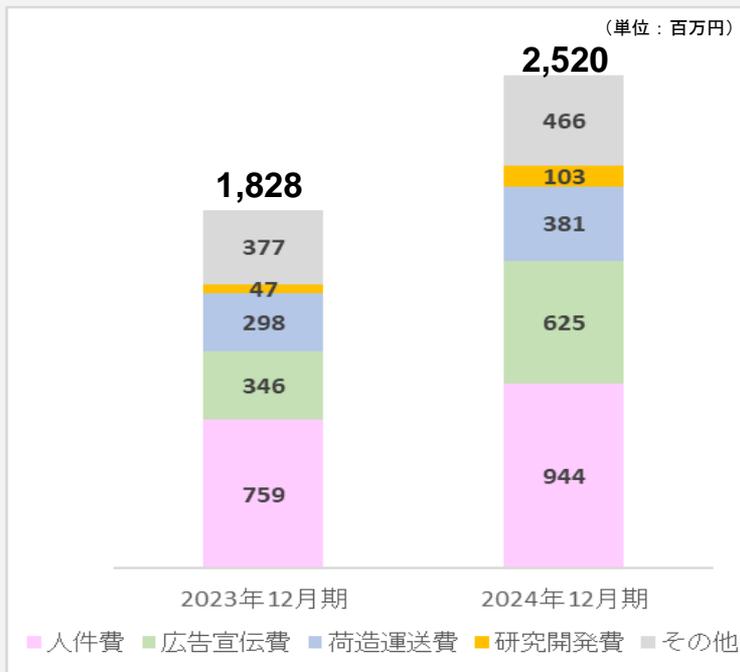
各期の実績は2024/12期と同一期間になるように組み替えております
(単位：百万円)



ソリューションサービスを本格展開した2022/12から記載
各期の実績は2024/12期と同一期間になるように組み替えております
(単位：百万円)



販売費及び一般管理費の主な内訳



当期販売費及び一般管理費

2,520百万円

前年同期比：692百万円増 (+37.8%)

人件費

システム開発、機械開発部門の人員増による増加

944百万円 前年同期比：185百万円増 (+24.4%)

広告宣伝費

売上に連動させた広告出稿積極化により増加

625百万円 前年同期比：279百万円増 (+80.7%)

荷造運送費

オンデマンドプリント売上増に伴う増加

381百万円 前年同期比：83百万円増 (+28.0%)

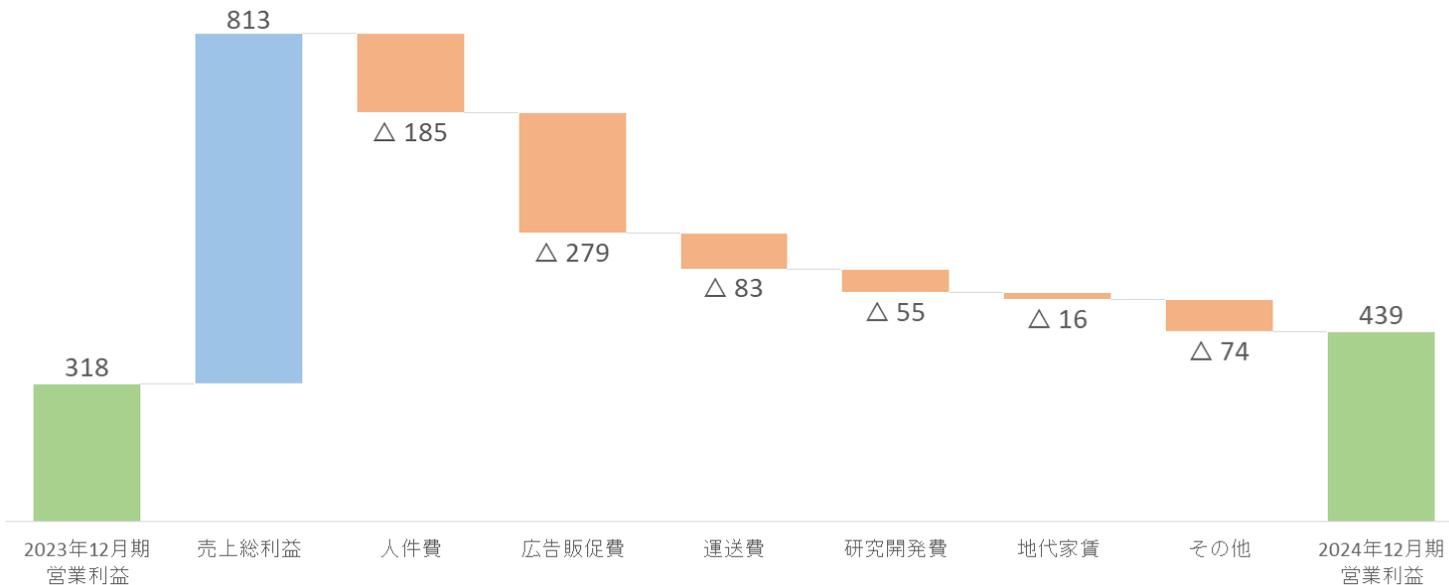
研究開発費

機械開発部門の人員増による増加

103百万円 前年同期比：55百万円増 (+117.9%)

■ 営業利益 前年同期比 121百万円増の主な要因

(単位：百万円)



- 生産設備の増強に伴う固定資産（主に建物附属設備）が増加
- 業績好調に伴う当期純利益増加により純資産が増加

(単位：百万円)	2023年12月末	2024年12月末	前期末比
	前期末	当期末	増減額
資産合計	2,685	3,031	346
流動資産	1,762	1,871	109
固定資産	923	1,159	236
負債合計	1,150	1,245	94
流動負債	819	1,002	182
固定負債	331	243	△ 87
純資産	1,534	1,786	251
総資産	2,685	3,031	346
有利子負債	408	284	△ 124
現預金残高	862	940	78
ネットキャッシュ	453	656	202
自己資本比率 (%)	57.1%	58.9%	+1.8pt

(単位：百万円)	2023年12月期	2024年12月期	前期比
	4Q累計	4Q累計	増減額
営業活動によるキャッシュ・フロー	528	591	63
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 404	△ 404	0
フリー・キャッシュ・フロー	123	187	64
財務活動によるキャッシュ・フロー	54	△ 109	△ 164
現金及び現金同等物の増減額	178	78	△ 99
現金及び現金同等物の期首残高	684	862	178
現金及び現金同等物の期末残高	862	940	78

営業活動によるCF

減価償却費+196、税引前当期純利益+380

投資活動によるCF

有形固定資産（主に建物附属設備等）の取得による支出△321

財務活動によるCF

長期借入の返済による支出△97

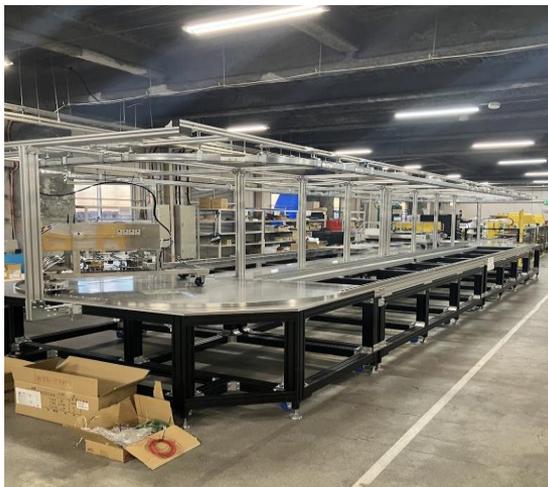
研究開発関連費用：308百万円

(研究開発費：103百万円 + 設備投資額：62百万円 + 関連経費：143百万円)

開示可能主要研究カテゴリー



パウダーレスDTF用
高性能グルーインク開発



長台自動スクリーン印刷機



全自動プレス機

3

今後の成長戦略

IMAGEMAGIC



封入作業の自動化

袋詰めや封入工程の
自動化装置



出荷の自動化

梱包出荷の自動化装置

既存プリンタへのカメラ設置

カメラ搭載で治具レス化し 生産性向上に貢献

課題

従来のプリンターは位置決め精度が低く、
治具による調整が必要で非効率

▶ 解決策・期待できる効果

既存プリンターへのカメラ搭載により、
印刷対象を正確に認識・位置決め
治具レス化による大幅な生産性向上





AMR導入

- AMR（自律走行搬送ロボット）は搭載したセンサーで周囲の状況を把握しながら自律移動します。
- 工場内の物の移動の自動化を行います。



MESによる稼働状況管理

Wifi接続したMESにより機器の稼働状況をリモートでリアルタイムで把握分析し、ダウンタイムを軽減します。



全生産ラインでさらなる自動化を目指す

加工名	DTG	DTF	スクリーン印刷	刺繍	UV
過去					
今期					
計画					

生地の風合いと プリントの耐久性を 兼ね備えた新システム



TransJet
DTTS-6000

パウダー不要で作業効率向上

連続運転そして省人化に寄与

洗濯耐久性の向上

高品質な印刷を実現

高性能RIPソフト「PrintFactory (TM)」との組み合わせで、再現性が高くより緻密で鮮やかな画像表現が可能に

プリント面の柔軟性向上



インクを使わない
アパレル製品へ
高速プリント



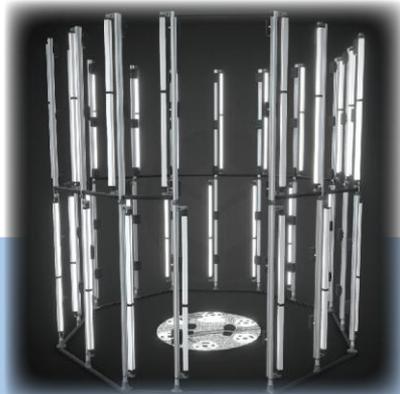
インク不要のため
消耗品コストゼロ



高性能フルカラー複合 3Dプリンター



sailner
フルカラー3Dプリンター



Arcana Mfg.
3Dフルボディスキャナー

日本国内販売代理契約



3DMEストア 五反田TOC店 オープン



カテゴリ		印刷・加工方法		
 アパレル	製品	シルクスクリーン印刷	量産の印刷方法では主流で装置が完成され進化していない まだ 周辺装置で進化の余地あり	関連装置研究開発
		DTG	プリンターメーカー主導で進化	—
		DTF	世界で市場拡大	次世代プリンター 自動化装置開発
		刺繍	—	研究開発
	生地	デジタル捺染 染料	市場の90%染料と圧倒的だが 環境負荷が高いため徐々に減少傾向	—
		デジタル捺染 顔料	今後拡大する市場	事業投資
 雑貨	UV印刷		現状の装置では 自動化が困難で 生産性も低い装置が主流	自動化に適した 装置研究開発

4

業績予想

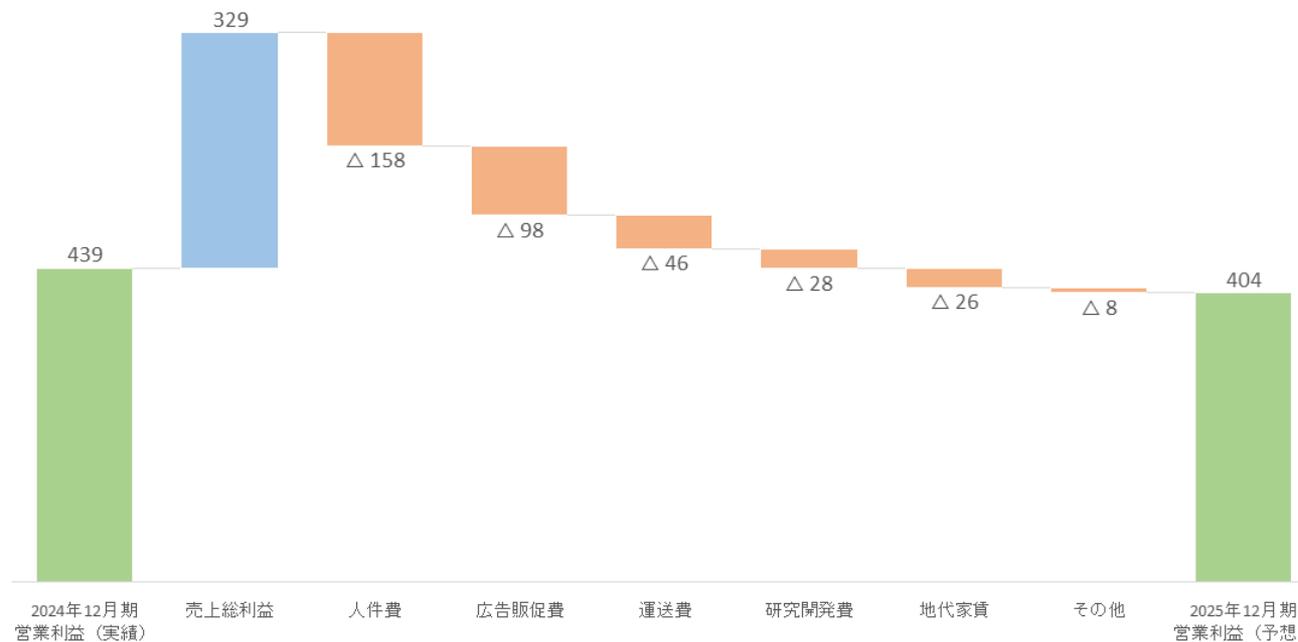
IMAGEMAGIC

オンデマンドプリント/ソリューションサービスともに伸長する計画
投資積極化のため営業利益は微減も当期利益は増益確保方針

	2024年12月期	2025年12月期	前期比	
	前年同期実績	(業績予想)	増減額	増減率
(単位：百万円)				
売上高	7,767	8,770	1,002	12.9%
営業利益	439	404	△ 35	△ 8.1%
対売上比 (%)	5.7%	4.6%	△ 1.1pt	—
経常利益	449	400	△ 49	△ 11.0%
対売上比 (%)	5.8%	4.6%	△ 1.2pt	—
当期純利益	258	267	8	3.2%
対売上比 (%)	3.3%	3.0%	△ 0.3pt	—

(単位：百万円)

自動化/省力化推進のための 人員増及びマーケティングを積極推進計画



株主優待

オリジナルプリント.jpで ご利用可能なクーポン贈呈

当社商品やサービスに触れていただくことでより多くの株主様に当社のオンデマンドプリントサービス事業のご理解を一層深めていただくことを目的といたしまして、株主優待制度を導入しております。

優待制度の拡充

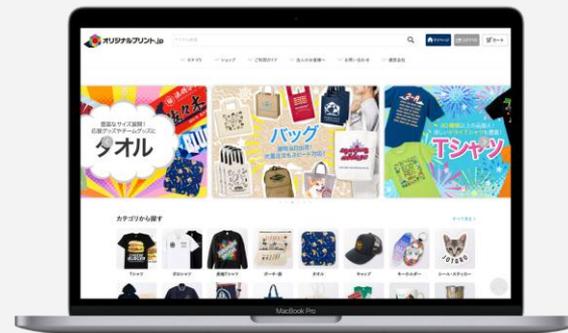
1年以上の保有/1,000株以上保有の株主向け優待の拡充

【株主優待制度の拡充目的】

長きに渡り当社株式を保有していただく株主様への感謝の意を表すとともに、より多くの株主様に中長期的に当社株式を保有していただくことを目的として、株主優待制度を拡充いたします。

（変更前）

保有株式数	内容
100株以上	3,000円分相当クーポン



（変更後）

保有株式数	保有期間	内容
100株以上 1,000株未満	1年未満	3,000円分相当クーポン
	1年以上（注）	6,000円分相当クーポン
1,000株以上	1年未満	6,000円分相当クーポン
	1年以上（注）	12,000円分相当クーポン

（注）保有期間1年以上とは、12月末日及び6月末日の株主名簿に同一株主番号で連続3回以上記載された場合といたします。

当社は持続的な成長と中長期的な企業価値の向上を重視しており
成長投資とバランスをとりながら 株主様に対する継続的な利益還元を実施することが
可能と判断し **2024年12月期より配当（初配）を実施すること** にいたしました。

	2024年12月期実績	2025年12月期予想
当期純利益	258百万円	267百万円
一株当たり当期純利益	110.43円	111.96円
一株当たり配当金	30.00円	※30.00円
配当性向	27.7%	26.8%

※今後の配当につきましては、当社は成長フェーズにあり、中長期的な成長投資を優先しながら、内部留保・安定的継続的な株主還元を総合的に判断して配当水準を判断していきます。

5

Appendix

IMAGEMAGIC



JPX

証券コード
7793

IMAGEMAGIC

会社名	株式会社 イメージ・マジック
事業内容	オンデマンドプリントプラットフォームの提供
設立	1995年5月 30th Anniv.
代表者	代表取締役社長 山川 誠
資本金	308百万円（2024年12月末現在）
従業員数	457名（パート・アルバイト含む） ※2024年12月末現在 前年比 +95名
所在地	本社 東京都文京区小石川1-3-11 ライジングプラザ後楽園

Company

会社概要

工場

川越工場

埼玉県川越市今福1443-1 3F

志村工場

東京都板橋区志村1-2-11

国内最大級ファクトリー

GPC 岐阜工場

岐阜県多治見市旭ヶ丘10-6-17

本社

小石川オフィス

東京都文京区小石川1-3-11
ライジングプラザ後楽園 5/6F

ショールーム

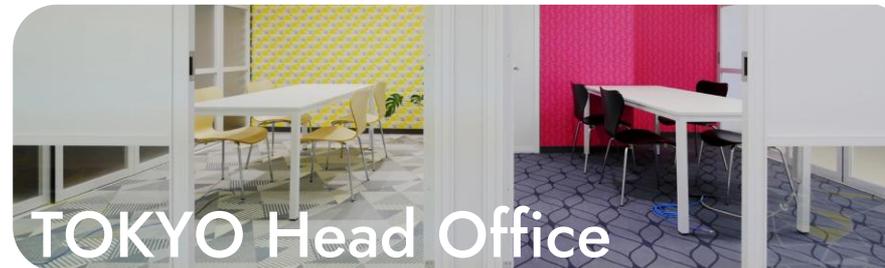
2025年 五反田に新拠点誕生

五反田ショールーム

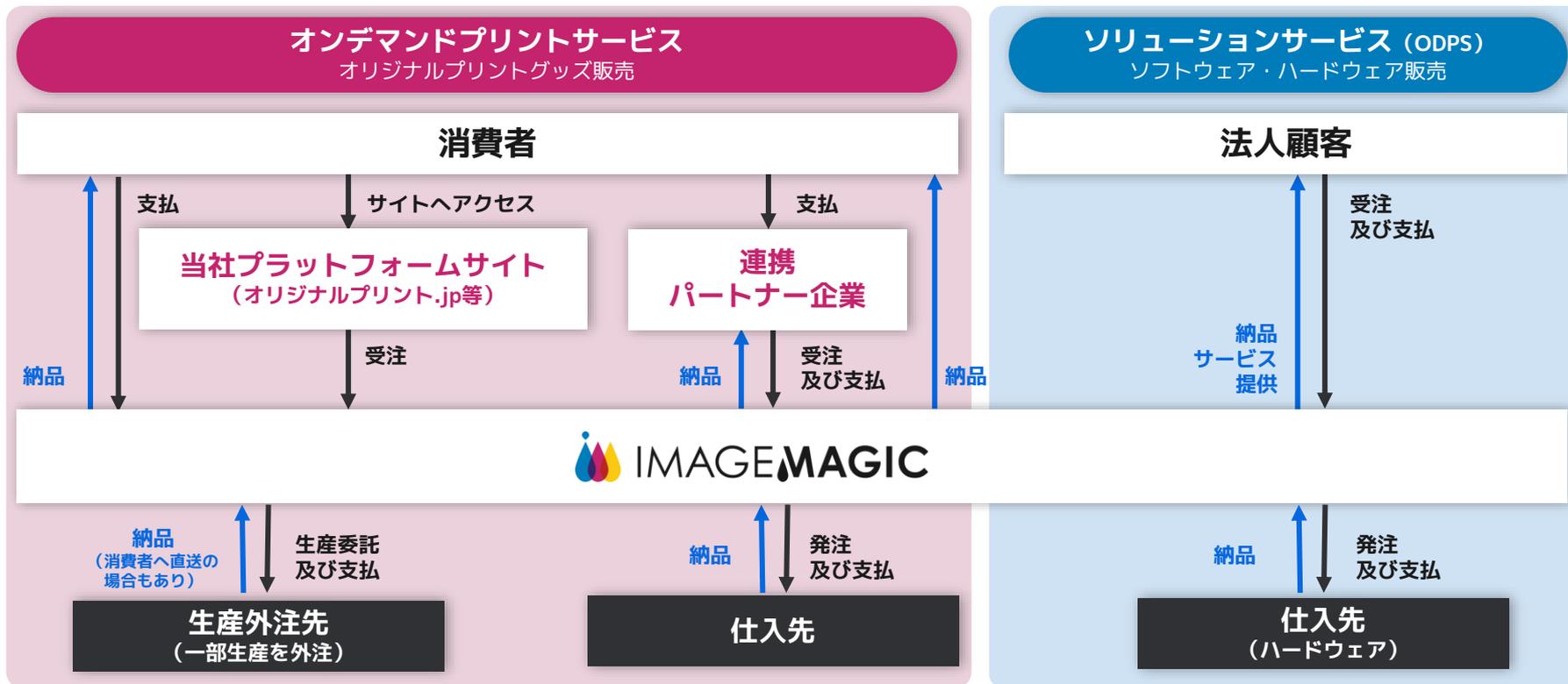
東京都品川区西五反田7-22-
17 TOCビル 10階15号

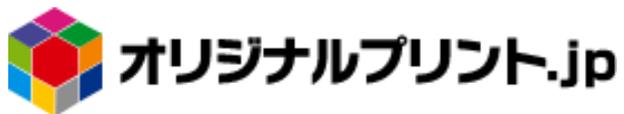
春日井ショールーム

愛知県春日井市坂下町6-809-
8



プリント×ITで新たな価値を創造する





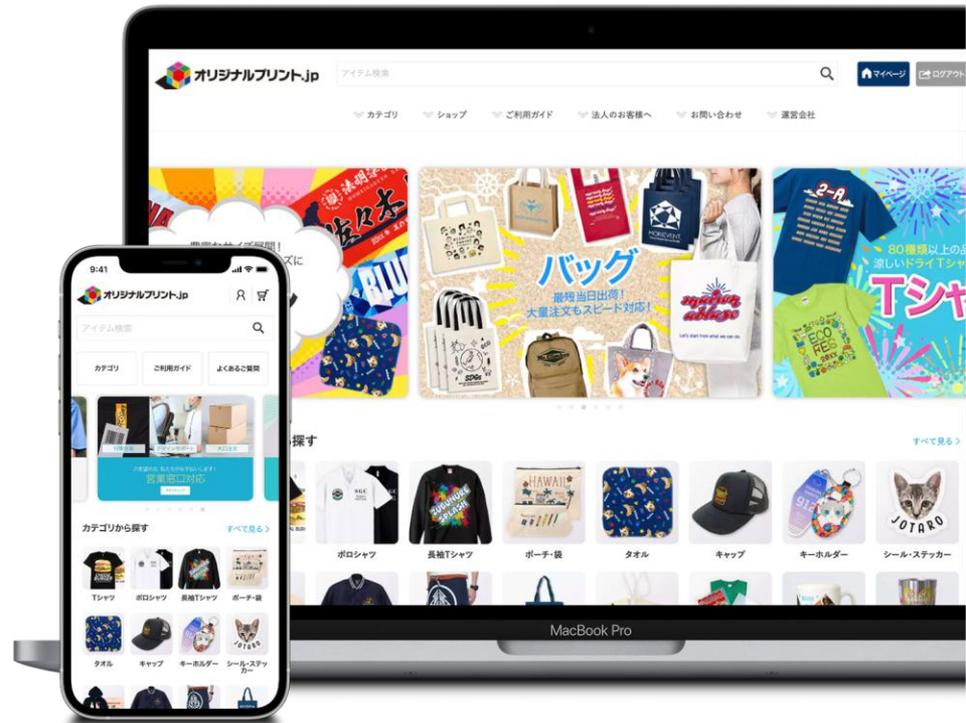
2010年 提供開始

国内最大級のWeb To Print オリジナルグッズ作成プラットフォーム

オリジナルグッズを作成できるECプラットフォーム。
アパレル、雑貨等、約1900種類のアイテムを取り揃え、
Webテクノロジーでご注文から出荷までを自動化し、お
求めやすい価格でのご提供を実現しております。



<https://originalprint.jp/>



拡大しているオンデマンドプリントの ビジネスフロー

例：クリエイター



ビジネスフロー

- デザイン提供者であるクリエイターの出品アイテムの販売に対応
- 受注、生産、アイテムの出荷まで、クリエイターの手間が全くかからない

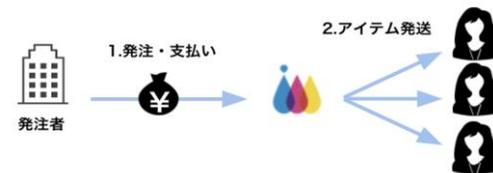
例：コンテンツホルダー



ビジネスフロー

- 販売する会社はキャラクター・有名人などのコンテンツを用意するだけで、幅広いアイテムの販売が可能
- 購入者が注文した後に、アイテムを作成して出荷するため在庫ロスなし

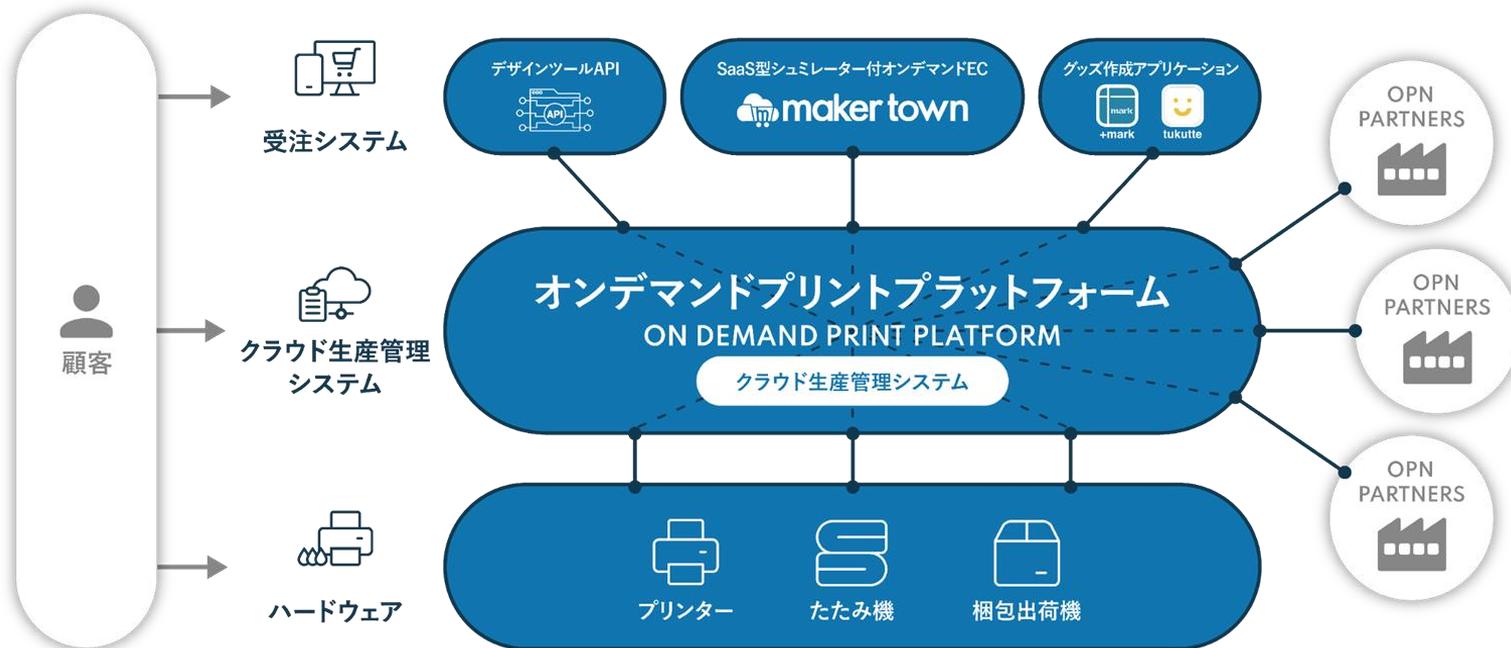
例：バリエブル印刷



ビジネスフロー

- オンデマンドプリントのワークフローを活用し、小ロットからのオーダーが可能
- システム連携を前提とした1オーダー1デザインの購入者ごとのバリエブル印刷に対応

受注から生産管理システム・ハードウェア等の 自社開発サービスをソリューションとして提供





DTF転写 (Direct to Film)

貼る

- ・旧来の方法から進化
- ・DTFはフィルム出力したものを熱で貼る方法

綿・ポリエステル・ナイロンをはじめ、様々な素材に対応

耐久性も強くユニフォームなど
様々な分野で拡大

旧来の転写は不向きだが
DTFはオンデマンドに向く

2020年頃から
急拡大中



DTG (Direct to Garment) インクジェットプリント

吹く (塗布)

- ・1点からフルカラーで印刷できる
- ・大量生産してもコストはあまり変わらない

綿・ポリエステルのみに対応

アパレル企業を中心に拡大

オンデマンドに最適

オンデマンドに最適のため
高速化や省力化が加速



シルクスクリーン印刷

刷る

- ・古くからある印刷方法
- ・1色ごとに版が必要
- ・小ロットには向いていないが、
数が増えれば最も安価で作ることが可能

様々な素材に対応

量産はほぼこの方法

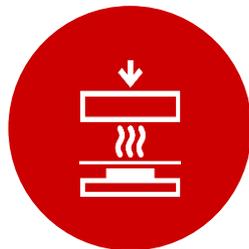
オンデマンドに不向き

低コストのため
なくなることはない

		
<h2>デジタル捺染 顔料</h2>	<h2>デジタル捺染 染料</h2>	<h2>アナログ捺染 染料</h2>
<h3>インクジェット印刷</h3>	<h3>インクジェット印刷</h3>	<h3>スクリーン印刷</h3>
<ul style="list-style-type: none"> ・風合いが硬い ・堅牢度が低い ・黒の発色が弱いが、技術進歩で解決段階 	<ul style="list-style-type: none"> ・風合いも柔らかい ・耐久性も高い 	<ul style="list-style-type: none"> ・風合いも柔らかい ・耐久性も高い
<p>前処理・印刷・乾燥 1工程</p>	<p>前処理・印刷・蒸し・洗浄・乾燥 それぞれ別工程</p>	<p>前処理・印刷・蒸し・洗浄・乾燥 それぞれ別工程</p>
<p>超短納期が実現</p>	<p>工程が多く納期も長い</p>	<p>工程が多く納期も長い</p>

環境負荷が少なく
今後急速にシフト

生地の95%近くは染料で印刷



UV印刷	ホットスタンプ	パッド印刷	シルクスクリーン印刷
・インクジェットプリンターで 1点から可能	・金属箔を熱と圧力で転写し、 高級感 を演出する印刷技術	・シリコンパッドでインクを拾い、転 写印刷	・絹目状の版でインクを押し出し、 鮮 明な印刷 を実現する技術
デジタル印刷	型が必要 アナログ印刷	1色ごとに製版が必要 アナログ印刷	1色ごとに製版が必要 アナログ印刷
	耐久性も強い	プラスチック系素材の ノベルティ用途に最適	素材を選ばない ノベルティ用途に最適
オンデマンドに 最適	オンデマンドには 不向き	オンデマンドには 不向き	オンデマンドには 不向き

フルカラーで少量でも
大量にも対応

少数には不向きで、多色も不向き
ロットが増えると非常に安価

Q1

研究開発の進捗状況について

A1

AI、協働ロボット、自動化装置開発の開発により、省力化・自動化に取り組んでおります。開発において人材確保が重要なポイントと認識しており、引き続き積極的に技術者の採用を進めております。

Q2

成長フェーズ段階で配当（初配）を実施するのは、成長投資先がないからでしょうか。

A2

当社実績は堅調に推移しており、企業価値向上のための成長投資と内部留保の確保を優先的に継続しながら、株主の皆様への安定的継続的な利益還元の実現が可能であると判断し、当社初となる剰余金の配当（初配）を実施することといたしました。詳細は、弊社コーポレートサイト「CEOブログ」に当社代表の山川のメッセージを掲載しておりますので、ご参照ください (<https://imagemagic.jp/category/ceoblog/>)。

- 別段の記載がない限り、本資料に記載されている財務データは日本において一般に認められている会計原則に従って表示されています。
- 本資料には、将来の見通しに関する記述が含まれています。これらの将来の見通しに関する記述は、本資料の作成時点の情報に基づいて作成されています。これらの記述は、将来の結果や業績を保証するものではありません。このような将来予想に関する記述には、必ずしも既知および未知のリスクや不確実性が含まれており、その結果、将来の実際の業績や財務状況は、将来予想に関する記述によって明示的または黙示的に示された将来の業績や結果の予測とは大きく異なる可能性があります。
- これらの記述に記載された結果と大きく異なる可能性のある要因には、国内および国際的な経済状況の変化や、当社が事業を展開する業界の動向などが含まれますが、これらに限定されるものではありません。また、当社以外の事項に関する情報は、一般に公知の情報に依拠しており、当社はそのような一般に公知の情報の正確性や適切性を検証しておらず、保証しておりません。
- 本資料は、情報提供のみを目的として作成しています。本資料は、日本、米国、その他の地域における有価証券の販売の勧誘や購入の勧誘を目的としたものではありません。